

事業所名

キッズすてっがかいぜ

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

令和7年

11月

1日

法人（事業所）理念		子ども・保護者様・支援者の笑顔を大切にしたい優しい会社を目指します。		
支援方針		ひとりひとりの子どもの発達段階や特性に合わせて、個別な支援計画を作成し、目標に向かって支援をおこないます。 また、遊びを通して様々な経験を重ねることで多様性を身につけ、子どもの「できる!」「できた!」を支援します。		
営業時間		9時00分から	18時00分まで	送迎実施の有無 あり なし
支援内容				
本人支援	健康・生活	規則正しい生活リズムの獲得を目指し、運動・食事・休息の時間をバランス良く確保するために、利用者様と考え一緒に1日のスケジュールを見直していきます。 挨拶を始め、基本的なやりとりや会話を身に付け、他者との関りを増やすことができるよう支援していきます。 第3の場所として、自分らしさを表現しやすい、心地よいリラックスできる環境を提供し、自己肯定感を高めていきます。 地域との関りを増やし、他者との繋がりを深めていきます。		
	運動・感覚	運動を通し、体力の向上やスムーズな動作（関節の動きやリズム感）の獲得を目指しつつ、身体を動かす楽しさを感じることができるよう支援していきます。 日常生活や遊びから様々な感覚（視覚・聴覚・触覚・平衡感覚・固有感覚等）を受けとり、脳で整理し適応する力を身に付けていきます。 作業・理学療法士より専門的にを行い、動作等を分析・評価し適切な支援を提供します。		
	認知・行動	徐々にレベルアップをするために一つの行動を細分化し、スモールステップで一つずつクリアしていき、達成感を得ながらできることを増やします。 数量、形の大きさなど認知しやすいよう実際に物体に触れ、視覚だけではなく触覚や固有感覚（筋肉や関節の動きを感じる感覚）で重さや質感などを無意識に感じ学びに繋げていきます。 本児の得意を伸ばし、褒めるところはしっかり褒めることで成功体験を増やし、自己肯定感を高め、得意な事だけではなく苦手な事にも挑戦するなど次の行動への意欲に繋げていきます。 上手くいかないこともどうすればよかったのか一緒に考え、失敗も成功に繋げ、経験値を増やし適切な行動の獲得を目指します。		
	言語 コミュニケーション	安心して発言できる環境を作り、自分の気持ちを上手に話すことができるよう支援していきます。また、言語だけではなく、身振りや手振り、絵や文字など様々な伝達方法を獲得し伝わる楽しさや喜びを感じることができるようにします。言語聴覚士よりアドバイスを受けた支援者による構音機能の訓練や活動を通し、言語の習得を目指します。 特性に応じた工夫を考え、読み書きの理解がスムーズにできるように支援します。		
	人間関係 社会性	遊びの中でルールを理解し、集団で活動できるよう支援します。SST（ソーシャルスキルトレーニング）を取り入れ、相手の気持ちを考えた発言・行動が無意識に定着できるよう支援します。 1人でできないこともみんなでならできるといった協力することを経験し、楽しさを見つけ、また、役割分担など自然とリーダーシップや協調性を学び、社会性を育む機会を提供します。		
家族支援		いつでも相談や情報を共有できるように利用者様の様子や気付きを保護者様と話せる関係を築きます。 ブログや「かいぜ便り」に活動の様子を掲載し情報の共有化を図ります。	移行支援	必要に応じて学校訪問し、利用者様の状況や支援内容等を学校や関連する医療と情報交換や担当者会議を行い、移行先との連携を図っていく。 障害特性等を踏まえ、移行先との支援内容・方法等の共有や伝達を行い、一貫した支援をしていながら、移行に繋げていきます。
地域支援・地域連携		関係機関で連携し、会議を行い、情報収集・役割分担について協議を行います。 地域活動やイベントに参加し地域の方と関わる機会を提供します。	職員の質の向上	研修へ参加し、事業所内でも勉強会や情報共有など支援に繋がるミーティングを行い、常に支援の質の向上を図ります。
主な行事等		<季節のイベント> 夏祭り ハロウィン 芋掘り クリスマス会 かるた大会 卒園、卒業お祝い会 <事業所外活動> 公園で遊ぶ 図書館で読書を楽しもう 外食体験 買い物体験 キッズ農園 観劇 科学館、博物館見学 <レクリエーション> サーキット遊び クッキング ゲーム大会 ミニ運動会		